～２月のクラスだより～

ひよこ組

【２月の保育のねらい】
・大人と一緒に友だちと遊び、楽しいという気持ちを味わう。

<こうしたかった！>
ひよこ組のこどもたちはみんな１歳になりました。好きなおもちゃを手に取って、自分の世界で遊んでいた子が、最近では友だちのやっていること、持っているおもちゃが気になるようです。自分の外に関心が芽生えてきているのでしょう。場所やおもちゃの取り合いになることも以前より増えてきました。
１歳頃からのこどもたちは、場所や物の取り合いになった時、押す、噛みついたりすることがあります。「こうしたかった」「いやだった」という気持ちを、言葉にして相手に伝えられないからです。痛いことをしてしまったことだけに注目せず、理由が必ずあるということを見逃したくありません。「〇〇したかったんだね」「～がいやだったね」と言葉にして、気持ちを受けとめています。そして、押されたりしてしまった子には、「いたかったね、～ちゃん、いやだったんだって」と伝えています。
こどもたちには社会性が育ち始めているということ。ひとつひとつが成長の課程。そのことを心に置き、こどもたちの気持ちに寄り添い、見守っていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組

【２月の保育のねらい】
・言葉遊びを通して友だちや保育者とのやりとりを楽しむ。
・節分の行事に興味・関心を持つ。

<言葉遊び>
言葉や文字に興味を持つ子が増えてきたので、お正月遊びをきっかけに『あっちゃんあがつくカルタ』を出してみました。みんなの馴染みある食べ物のイラストが描かれたカルタで絵を見ながら楽しんでいます。遊んでいるうちに、「〇〇くんと〇〇ちゃんの名前「き」が一緒だ」「「わ」と「れ」ってなんか形が似てるね」などと発見し、友だちや保育者に伝える姿があります。
また、集まりの時などに、「「う」がつく動物なーんだ」「「な」から始まる言葉はなーんだ」などとクイズにして言葉遊びをしています。友だちが答えたものに対して「あ、それもあるね」「すごい！物知りじゃん」と良いところに気づき、認め合う姿が出てきました。文字や数字に興味が出てくる時期なので、遊びを通して言葉のおもしろさなどをたくさん経験させてあげたいです。

りす組

【２月の保育のねらい】
・見立て遊びを満足するまで楽しむ。
・遊びを通して、友だちや保育者と言葉のやりとりをする。

<やったあ！登れた！>
こどもたちの好きな室内遊び、肋木（ろくぼく）です。雨の日や寒い日にはこどもたちから「大きいすべり台(肋木)やりたい！」と言う時もあります。
肋木を立てて登り降りをしたり、戸板をかけて斜面を作りすべり台にすると、手のひらや腕、足の力など全身を使います。初めは「こわい」と言いながらも保育者に手助けされながら一番上まで登り、「やったあ！登れた！」「高いよ！」と笑顔に。何度か登れると自信がつき「もう一回やる」と、次は一人で挑戦する姿もあります。
今までは一人で登ることができても、一人で降りることは難しかったこどもたちですが、一段ずつ手と足を交互に離して一人で降りられるようになったり、体の使い方や重心移動が上手になってきました。
私たち保育者は、こどもたちの“自分でできた！”の気持ちを大切にしています。すぐに手を出すのではなく、「次はこっちの手だよ」「ここに足を乗せてね」と説明しながら促しています。
室内でもたくさん身体を動かして、元気に過ごしていきたいです！

さくら組

【２月の保育のねらい】
・中当てやドッチボールなどボールを使った遊びのルールを覚え、楽しむ。
・カルタやすごろくなどを、繰り返し友だちと一緒に楽しむ。

<ルールのあるあそび>
カードゲーム、ボードゲームにはルールがあります。ルールを覚えて、ルールを守って遊ぶととても楽しいということを経験から理解し始めたさくら組。
カルタのルールはどの子もすっかりわかっているので、大人がいなくてもこどもたち同士で楽しめます。字を読める子が進んで読み札を読んでいるのを見て、「僕も私も読んでみたい。」と意欲を見せ、「わからないところはおしえて」と言って大人が側にいれば、読み手に挑戦する子も増えてきています。
すごろくはサイコロを振って出た目の数だけ進んで、進んだ先の指示通りに動くということを丁寧に伝え、大人と一緒に楽しむことで、次第にこどもたちだけでも遊び始めています。部屋には「だるまちゃんのすごろく」と「おばけすごろく」があり、すごろくの中の指示がとても面白いようで、「『はなをつまんで　みーんみーんという』だって～やだ～はずかしい」と言ったりして、みんなでゲラゲラ笑いながら楽しんでいます。
さくら組には他にも UNO やトランプがあります。まだまだルールを理解するのは難しいようで、覚えている最中です。色々なゲームのルールを覚え、遊びがもっともっと広がっていければいいなと思っています。

うさぎ組

【２月の保育のねらい】
・経験したことや興味のあることをあそびの中で表現し、イメージを共通して楽しむ。
・スプーンやフォークを上手に持って食べる。

<どのくらい食べる？>
公園でたくさん身体を動かし、帰り道では「今日のごはんは何かな～？」「カレーがいいな」などと給食を楽しみにしているこどもたち。10月ごろから「どのくらい食べる？」と聞きながら盛り付けしていますが、最近では「今日はいっぱい走ったから、たくさんごはん食べるね」「この野菜は苦手だからちょっとにする」など、自分で食べたい量を伝えてくれます。食べられないのに友だちと同じように「全部食べる」と言ったり、たくさん食べられるのに「ちょっとにする」と言ってみたりする時もありますが、食べる量を自分で決めることで、お皿が空っぽになり完食できたという喜びを感じているようです。友だちが食べているのを見て、苦手なものも１口は食べてみる子もいて、「見て！食べたよ！」と嬉しそうに報告してくれます。
たくさんあそび、空腹を感じ、もりもり食べて楽しい時間を過ごすとともに、座る姿勢や食器を近くに持ってくる、食器に手を添えるなどのマナーやスプーンの持ち方など知らせていきたいと思います。

もみじ組

【２月の保育のねらい】
・冬の自然に興味関心を持ち、観察したり触って遊ぶ。
・生活や活動に見通しを持ち、自分たちで生活を進めていく。

<生活を見直そう！>
移動ポケットを持ってきてもらってから、自分のハンカチ、ティッシュを意識して使うようになってきました。
クラスでは『使った物、道具を元にあった場所に片付ける』『引き出しは閉める』『ロッカーの中を整理する』など頑張っているところです。特に使った物の片付けは、「さすがもみじさん」「ちゃんとやっているね」など他のクラスの見本になっている姿が増えてきました。
また基本的な身支度なども出来るようになりましたが、『朝、顔を洗う』『髪の毛をとかす』『下着はズボンの中にきちんとしまう』『ご飯を食べた後口の周りについていないか鏡を見る』など、親子で意識できるようになるといいですね。